

政務調査費調査等報告書

- 1 事業名
巡回コミュニティバス運行事業
移住体験事業
「地域おこし協力隊」事業
- 2 事業内容
別紙記載
- 3 成果

- 注) 1 事業名には収支報告書の支出科目区分により記入のこと。
2 事業内容及び成果には、具体的な内容とその成果を記入のこと。

政務調査報告書

視察事項

- 1 地域公共交通活性化事業及び町内巡回バスの運行について
- 2 移住体験事業
- 3 「地域おこし協力隊」

1. 地域公共交通活性化事業及び町内巡回バスの運行について

視察地 南幌町 人口 8,859人 (H22年次)

平成12 農村地域の高齢者の足の確保として地域住民より要望

平成13 一年間の試行運行

- ・ 民間(夕鉄バス)運行委託
- ・ 年間経費 6,814,500円
- ・ 運行路線 町内2路線
- ・ 運賃 100円(小学生以下50円)
- ・ 年間利用者数 4,362人
- ・ 年間量運賃 426,850円
- ・ 年間町負担額 6,814,500 - 426,850
= 6,341,450

平成14～21年次までの利用者数及び町負担額の推移

年次	利用者数(人)	町負担額(円)
H.14	5,059	5,735,200
H.15	6,023	5,694,550
H.16	5,943	5,309,820
H.17	4,541	3,674,730
H.18	4,307	3,451,200
H.19	3,678	3,491,640
H.20	3,193	3,659,480
H.21	3,329	3,620,120

H13年次1年間の試行運転後 H14年次より H21年次まで料金の改定、路線の工夫等を行って継続しているが、利用者の減少と町費負担からも廃止も視野に入れて検討課題とされている。

2. 移住体験事業

概要 原則 20 歳以上の夫婦とその家族

現在町外に居住し、将来南幌町に移住を検討されている方

期間は原則 2 ヶ月以内

家賃 11,500 円/月 他光熱費

【事業実績】

年度	利用人数	利用日数	利用者居住地
H.19	4 組 (10 名)	168 日間	関東、中京、山陰
H.20	13 組 (28 名)	308 日間	関東、中京、関西、信州
H.21	14 組 (31 名)	338 日間	関東、中京、関西、山陰、四国、東北
H.22	10 組 (22 名)	361 日間	関東、中京、四国、道内

利用者の状況は健康な 60 歳以上の夫婦が大半を占めている。利用期間は 5 月～9 月に集中していて冬期間は少ない状況にある。このことから定年退職後の一時的な移住体験にとどまり永住には結びつきにくいようである。

3. 「地域おこし協力隊」

視察地 喜茂別町

目的 地域おこし協力隊の集落支援活動

事業終了後の町内への定住化

人数 10 名 一度に採用

導入体制 NPO 法人 WAO、北海道ふるさとづくりセンター、
財団法人北海道農業企業化研究所

基本的活動

1. 地域行事等コミュニティ活動支援
2. 町内各種団体活動支援
3. 不法投棄パトロール巡回
4. 高齢者等生活支援活動

地域おこし活動

1. 農林畜産業の支援
2. 特産品の開発・販売支援
3. 都市と山村交流事業の企画・運営
4. 子どもたちの芸術・文化、教育活動に対する支援

待遇等 報酬 月額 16 万 5 千円

勤務時間 月 160 時間程度

以上、喜茂別町における「地域おこし協力隊」の実施状況の概要であるが国の財政措置が3年間であることから、協力隊員の町への継続的な居住条件となる3年経過後の就業、また、事業の継続における町の財政負担が大きいことから事業の継続が検討されている。